



2月17日[Sat]～3月31日[Sun]

市内5か所で「丹邱の里」のひなまつり



▲TAQUA玄関ホールには100体を超えるひな人形が飾られました

春の訪れを告げる「丹邱の里」のひなまつり（主催：「丹邱の里」のひなまつり実行委員会）が開催されました。市内5か所で市民のみなさんからご寄贈いただいたひな人形を展示。それぞれの会場で個性あふれる展示があり、来場者を和ませました。

TAQUA会場ではひな壇飾りのほか、SAGA 2024をモチーフにひな人形がスポーツライミングや弓道を楽しんでいる場面を表現。「丹邱の里」のひなまつり実行委員会の倉富治利くらとみちとしさんは「たくさんの雛人形を譲っていただいたおかげでにぎわう場所づくりができました。来年はさらに展示の範囲を広げたいです」と思いを話されました。

2月24日[Sat]

ジビエカレーを味わう会！



▲振る舞われたジビエ料理にみなさん舌鼓を打っていました

「ジビエカレー」「しし汁」「ジビエコロッケ」が提供されました▶



農作物に被害を及ぼすイノシシの肉を活用し、たくさんの人にジビエの美味しさを知ってもらおうと『ジビエカレーを味わう会！』（主催：一般社団法人多久市観光協会）が西多久公民館で行われました。地域おこし協力隊の木下光次きのしたみつしさんが立ち上げた西多久テラス合同会社と多久市観光協会が連携し、今回初めて開催されたイベント。

市内外から事前予約した100人以上の人が参加し「体がとても温まった」「イノシシ肉は初めて食べたけど、全く臭みがなく甘くて美味しかった」など笑顔で話されました。

2月24日[Sat]

多久市市制施行70周年特別記念事業「張濱二胡音楽会」開催



▲ピアニストの宮下はる美氏、張濱氏、チェロ奏者の佐藤光氏、揚琴演奏家の趙勇氏（左から）

市制施行70周年を記念して、中国楽器・二胡の第一人者張濱（チャン・ビン）氏による音楽会（共同主催：多久市日中友好協会、多久市）を中央公民館で開催し、約500人が来場されました。「荒城の月」「風月同天」など15曲が演奏され、二本の弦から紡ぎだされる優しく、激しく、そして穏やかな音色に会場は魅了されました。

張濱氏は「多久は自然がいっぱいで、空気がおいしくて好き。また多久市に来たくなった。二胡を通して日中友好の架け橋となれば」と話され、市外から訪れた来場者は「美しい音色で心が豊かになり、素敵な時間でした」と笑顔で話されました。

市報たく
No. 754

もくじ

- 02 まちの話題
- 04 特集1 多久市市制施行70周年
- 06 特集2 70周年×JR九州
- 08 特集3 プレミアム付商品券
- 10 特集4 組織機構の変更
- 12 特集5 当初予算
- 14 多久市からのお知らせ
- 21 あじさいへ行こう！
- 22 教育委員会だより
- 23 市長コラム
- 24 健康ノススメ
- 26 おたっしゅだより
- 28 まちのPickUPインフォメーション

今月の論語



行くに徑に由らず
行不由徑。

出典…雍也第六

目的を達成するのに決して近道はしません。

今月の帰宅放送は、東原彦倉中央校9年の田中悠介さんです。



多久市公式 X (旧Twitter)



多久市公式 YouTube



多久市公式 Instagram



多久市公式 Facebook

